

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 22日から23日にかけて、低気圧がサハリン付近を通過し、23日から24日にかけて気圧の谷が北日本を通過する。
- 22日から26日にかけて、前線が日本の南から沖縄・奄美付近にのび、高気圧が日本海を進む気圧配置が続く。

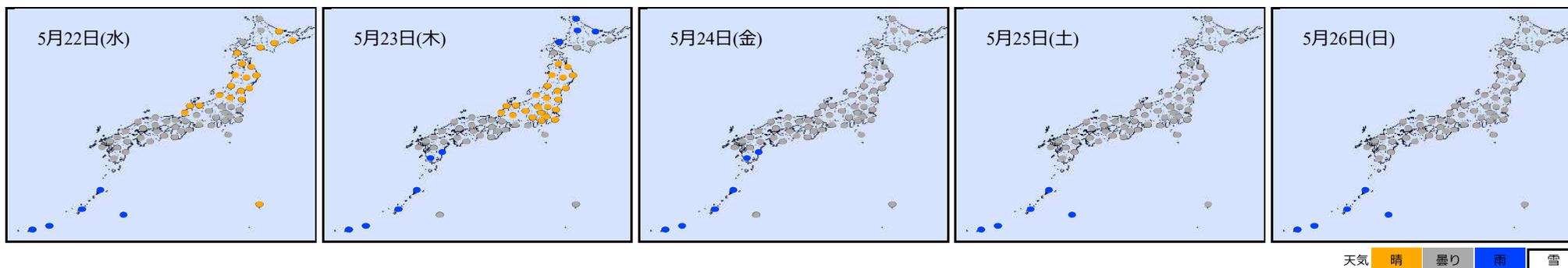
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

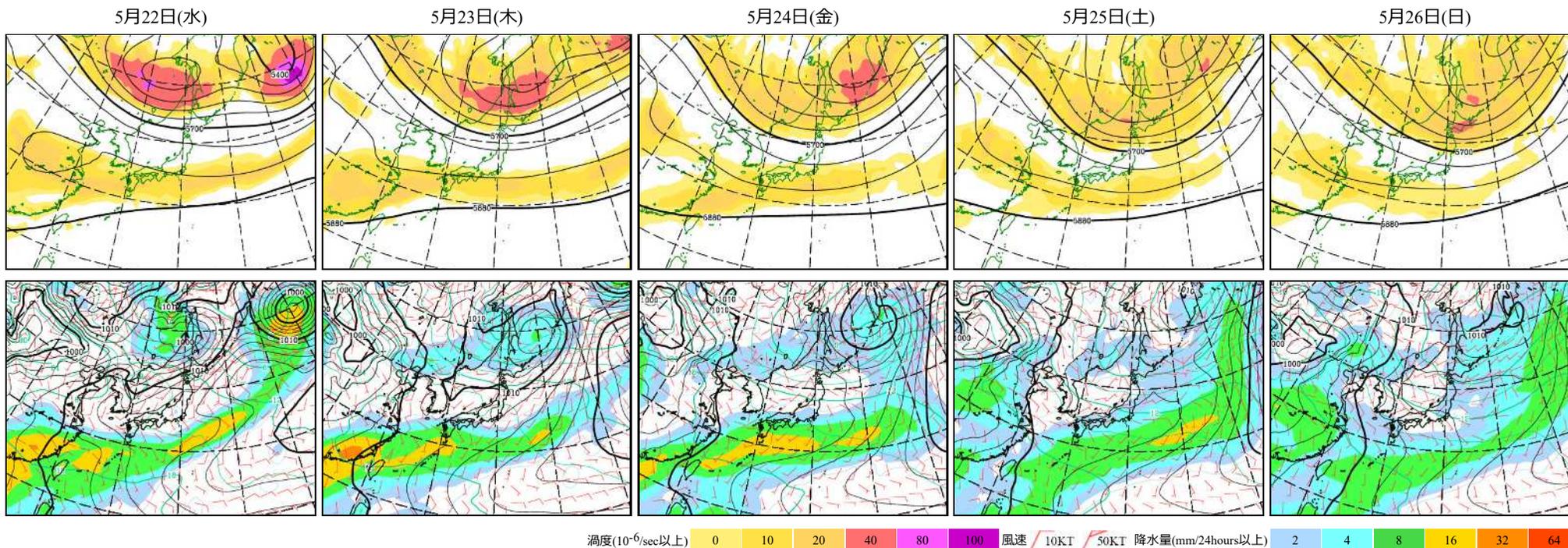
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

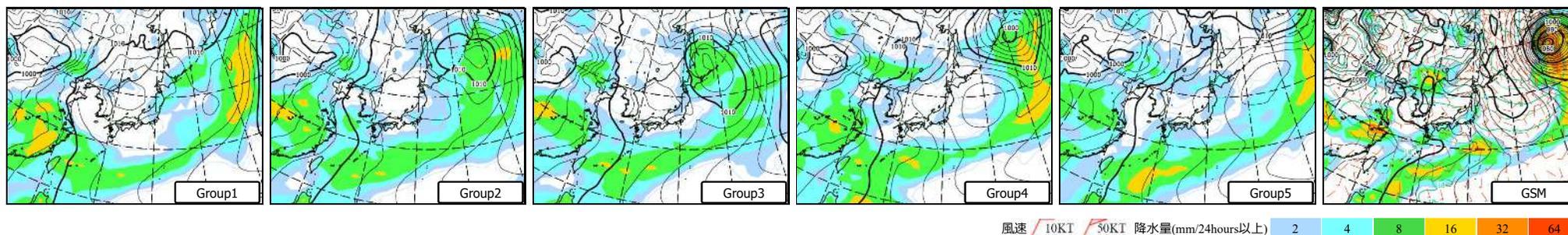


- 北日本は、晴れまたは曇りとなるが、23日は雨の降る所がある。
- 東日本と西日本は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、西日本太平洋側では雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月26日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、大きな初期値変わりはない。他のモデルは24日に北日本を進むトラフの予想に初期値変わりがある。トラフの進みが遅くなるモデル、早くなるモデルがあり、モデル間の差は大きくなっている。日本の南の前線は、ENS、GSM、ECMは比較的近く、NCEPは他のモデルと異なる予想をしている。
- 26日は、ENS平均では日本海に高気圧を予想するが、他のモデルは日本の東に高気圧が進む予想をしている。ENSには他のモデルに近い予想をするメンバーもあるが、オホーツク海や千島付近に発達した低気圧を予想するメンバーもある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。